

【学生へのメッセージ】

わたしは単純な性格です。牧師・園長をしていろいろなジャンルの人に出会います。そして「素晴らしいな」と思える人に出会うとすぐに影響されてしまいます。どうしてそうなるのかというと、その人のもっている世界観に共鳴するからだろうと思います。

幼稚園の園長をしていて教職員に言うことがあります。「今出会っている子どもたちの保育は今だけにあるのではない。彼らが成人になる成長の姿を考えながら保育するように」です。それは子どもたちの日々の出会う積み重ねに「素晴らしい世界」を見出す非認知的部分が内蔵していると考えからです。それを「神の真実に対して人間の信実が応答する」との信仰の本質と深く受け止めています。

【講師紹介】

安部一徳（あんべ・かずのり）先生
1967年東京生まれ。多摩湖の近くで育つ。酪農学園大学酪農学部酪農学科卒業。在学中は卒論でサイレーン調整制御に取り組む。卒業後神学校で学び牧師となる。日基督教団道北センター牧師・三愛塾事務局長（名寄）、日本基督教団厚別教会牧師（新札幌）、日本基督教団杉並教会牧師（東京）を経て、2016年より日本基督教団北見望ヶ丘教会牧師・学校法人北海道キリスト教学園北見のぞみ幼稚園園長に就任。これまで教会の牧師と幼児教育に奉職。子どもの「心の根っこ（非認知能力）」を保育理念の軸におき実践中。

【茶話会】

礼拝後に黒澤記念講堂2階の集会室で講師を囲んで茶話会を行います。安部先生と話してみたい方や質問のある方は、礼拝後に2階にお進みください。もちろん教職員の方も歓迎します。飲み物やお菓子も用意しておりますので、リラックスした雰囲気できちんとお話しできます。遠慮せずにご参加ください。お待ちしております。

【次回の大学礼拝】2018年6月5日（火）10時40分

次回の大学礼拝は、キリスト教学教員の高橋優子先生が奨励をご担当されます。みなさん、ぜひご出席ください。

【前回の大学礼拝】2018年5月22日（火）10時40分

学生 361名 教職員ほか 9名 合計 370名

【大学礼拝週報】 2018年度 第7号（前学期第7号）

2018年5月29日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

2018年度春期キリスト教教育強調週間

《大学礼拝》

司 式 小林昭博（宗 教 主 任）
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「勝利なる君、ほまれなる王」（ボルンゲッサー作曲）
讃 美 歌 讃美歌 21 532 番（やすかれ、わがこころよ）
聖 書 マルコによる福音書 10 章 46-52 節
祈 り
さ ん び 酪農学園大学聖歌隊
奨 励 「あなたの真実があなたの信実になる」 安部一徳
（日本基督教団北見望ヶ丘教会牧師）
報 告
讃 美 歌 酪農讃歌
後 奏 「おお神よ、汝いと高き恵みの神よ」（バイエル作曲）

【本日の聖書】マルコによる福音書 10 章 46-52 節

46 一行はエリコの町に着いた。イエスが弟子たちや大勢の群衆と一緒に、エリコを出て行こうとされたとき、ティマイの子で、バルティマイという盲人の物乞いが道端に座っていた。47 ナザレのイエスだと聞くと、叫んで、「ダビデの子イエスよ、わたしを憐れんでください」と言い始めた。48 多くの人々が叱りつけて黙らせようとしたが、彼はますます、「ダビデの子よ、わたしを憐れんでください」と叫び続けた。49 イエスは立ち止まって、「あの男を呼んで来なさい」と言われた。人々は盲人を呼んで言った。「安心しなさい。立ちなさい。お呼びだ。」50 盲人は上着を脱ぎ捨て、躍り上がってイエスのところに来た。51 イエスは、「何をしてほしいのか」と言われた。盲人は、「先生、目が見えるようになりたいのです」と言った。52 そこで、イエスは言われた。「行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」盲人は、すぐ見えるようになり、なお道を進まれるイエスに従った。